

コリント人への手紙— 15:50-58 クリスチャンの死生観

今日、第一コリント15章の終わりに来しました。パウロが問題の多いこのコリントの教会で彼が取り組んでいる大きな問題を実際に締めくくっています。この15章全体が復活に関連しています。彼はキリストの復活から私たちの未来の復活を今保証するところに移りました。その未来の復活の希望がこのテーマの彼の最後の喜びに満ちた結論の基礎を築いています。これらの最後の言葉から、聖霊なる神の靈感の下、執筆したパウロの見解がどのように私たちクリスチャンとしての人間の死生観を形成するべきかを見ていきたいと思えます。まず、人が絶頂期にどのように死を見ていたか、何人かの歴史的な人物の引用で始めましょう。シャルル・ド・ゴール氏は言いました。その一日がどんなに素晴らしい一日であったかを知るには、その日の夕方まで待たなければなりません。死ぬ時まで、その命を判断することはできません。ヘンリー・デビッド・ソール氏は、私たちが死ぬとき、私たちは実際には生きていなかった事に気づかないようにしましょう。マーク・トウェインはこう言いました。私たちが死ぬとき、葬儀屋でさえ惜しむよう、必死に生きましょう。

死に関していくつかの日本のことわざもあります。死んで花実が咲くものか くものか 解説: 人間死んでしまえば万事おしまいである。どんな状況にあっても、生きていればこそいいこともあるということ。死んだ木に花が咲いたり実がなったりしないことから。二番目は命あっての物種 解説: 何事も命があるからこそできる。だから命に関わるような危険なことはなるべく避けたほうがいいということ。「物種」は物の根源の意。

この世での中心は、私たちにはこの地上での一つのしかない生涯が重要であると言う目に見える真実にあります。ある意味で、クリスチャンのメッセージと解釈することもできます。結局、神は私たちが地上でする事が永遠に影響すると私たちに言われています。マタイの福音書 6章 19-27節 19 自分のために、地上に宝を蓄えるのはやめなさい。そこでは虫やさびで傷物になり、盗人が壁に穴を開けて盗みます。 20 自分のために、天に宝を蓄えなさい。そこでは虫やさびで傷物になることはなく、盗人が壁に穴を開けて盗むこともありません。 27 あなたの宝のあるところ、そこにあなたの心もあるのです。

私たちの地上での時間は永遠の目的のために費やすべきです。ですから、重要なのです。しかし、それだけか重要であるということではありません。事実、パウロはこの第一コリント15章の結びで私たちに、私たちはこの生涯が終わってから真に神が意図されるよう生き始めると伝えています。私たちの多くにとってこのメッセージは受け入れがたいです。私たちはこの世の人生が大好きです。私たちは人間関係、私たちの結婚、私たちの子供たち、私たちの家族を愛しています。私たちの物、車、家、仕事、遊び道具が気に入っています。これらすべてが私たちの地上での生活を心地良くしてくれています。正直に言うと、私たちはこの地上での生涯の後の命を常に考え、心待ちにしているわけではありません。私たちは本当にパウロがテトスの書2章13節で言うようであると言えるでしょうか。テトスへの手2章 13節 13 祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神であり私たちの救い主であるイエス・キリストの、栄光ある現れを待ち望むように教えています。私たちは本当にキリストの再臨を待ち望んでいるのでしょうか。それとも、本音を言えば、まだ永遠を生き始める事が少し怖く、まだ心の準備もできておらず、心から望んでもいないのでしょうか。

今日の聖書箇所はキリストが戻られる時、私たちが生きていても、避けられない死を迎えていたとしても、信じがたい喜びが私たちを待つことを私たちに指し示しています。私たちは復活の体に与る時、完成された人としての完全な表現に到達するので、彼はこの両者を一緒に結び付けています。50-57節を読みましょう。

コリント人への手紙 第一 15章 50-57節 50 兄弟たち、私はこのことを言っておきます。血肉のからだは神の国を相続できません。朽ちるものは、朽ちないものを相続できません。 51 聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな眠るわけではありませんが、みな変えられます。 52 終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちに変えられま

す。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。53 この朽ちるべきものが、朽ちないものを必ず着ることになり、この死ぬべきものが、死なないものを必ず着ることになるからです。54 そして、この朽ちるべきものが朽ちないものを着て、この死ぬべきものが死なないものを着るとき、このように記されたみことばが実現します。

「死は勝利に呑み込まれた。」55 「死よ、おまえの勝利はどこにあるのか。死よ、おまえのとげはどこにあるのか。」56 死のとげは罪であり、罪の力は律法です。57 しかし、神に感謝します。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。私たちの多くにとっては今でも十分に喜びに満ちているのに、なぜ次の命は今の命よりもさらに楽しく喜ばしいのでしょうか。その問いに答える前に、50節で彼が今私たちが経験していることではなく、まさに私たちの未来の永遠の命について語っているのを戻ってみる必要があります。彼が**血肉のからだは神の国を相続できません**。血肉と言っていることに注目してください。血は私たちの現在の命について語っているのです。人の肉と血は人間性を最も記述的に描写する言葉でしょう。私たちを最も脆弱にする理由でもあります。多量に出血すれば、死にます。私たちの肉体の多くの部分が取り除かれれば、死にます。ですから、何世紀もの戦争を経て軍隊は、これらの戦争で戦う兵士のとても損傷を受けやすい体を守るためにより良いより進化した車両や防護服を開発しました。エアバッグは自動車事故から弱い人間により強度な防御を提供するために開発されました。しかし、私たちも未来の人としての在り方はとても違って、非常に素晴らしいです。

ここで再び私たちの質問に戻されます。なぜ、現在の私たちが生きる命よりも、次の命がより望ましいのでしょうか。パウロが朽ちるべきと言っているこのひ弱な肉と血の代わりに、彼は朽ちないものになると言っています。この有効期限のある体は使用期限が消えるのです。そして、決して朽ちることなく、決して弱る事もないのです。キリストが戻られる時、私たちが生きていようが、その時点でもうすでに死んでいて、救い主との霊的生活を楽しんでいようとも、私たちは変えられます。それは一瞬にして起こり、血肉の体が朽ちないもの、滅ぼされることがないものになります。彼は死ぬべきものが死なないものとなると言っています。そして、この不滅の命はコミックや漫画本で見るとは限りありません。これは真の永遠の命であり、アダムとイブが持っていたような創造主との完全な和合と平和的な完全な生活です。そして、私たちがその時点でもうすでに天国にいたならば、完全なる生活を経験していますが、キリストの再臨によって私たちの新しい体の体験によってその驚くべき生活はさらに高められます。**死者は朽ちないものによみがえり**と彼が言っているのに注目してください。私の父がまだ20代だった頃から、彼は重度の関節リウマチで苦しんでいました。進行は著しく、私が7歳の頃には、父は回復が不能な障害者になっていました。やがて、彼の苦しみを和らげるために彼の両側の股関節、両膝、そしてすべての指関節は人工関節に置換されました。最終的に彼は癌を発症しました。そして私が中学一年生の時、父は40歳にしてなくなりました。文字通り、私の父と過ごした子供時代で、私は彼が健康体であった時を知りません。しかし、いつの日か、私は完全な永遠に健康な父に会うでしょう。彼の体はもう関節炎による痛みもなく、癌もなく、人工関節に頼る必要もないのです。キリストを知るすべての人たちの体のように、彼の体は朽ちないものとして復活させられ、健康を取り戻すのです。私たちの未来の復活と永遠の生活のその輝かしい真理とは、死が持つ私たちを恐れさずどんな力も滅ぼされるという事です。死が敗北と喪失の印である代わりに、死は究極の勝利の源となるのです。パウロは旧約聖書の二つの聖句を引用して力強い陳述で54と55節で死に痛烈な皮肉を伝えます。

54 そして、この朽ちるべきものが朽ちないものを着て、この死ぬべきものが死なないものを着るとき、このように記されたみことばが実現します。「死は勝利に呑み込まれた。」55

「死よ、おまえの勝利はどこにあるのか。死よ、おまえのとげはどこにあるのか。」これは相手に対するととても当て擦りで皮肉な勝利宣言です。死はアダムに始まって未だかつて生きた人間全員の明確な特徴であった死が完全に打破されたのです。54節で彼はイザヤ書25章8節を引用します。**イザヤ書 25章8節8** 永久に死を呑み込まれる。神である主は、すべての顔から涙をぬぐい取り、全地の上からご自分の民の恥辱を取り除かれる。主がそう語られたのだ。そし

て、55節ではホセア書13章14節を引用しています。 **ホセア書 13章 14節 14 わたしはよみの力から彼らを贖い出し、死から彼らを贖う。死よ、おまえのとげはどこにあるのか。よみよ、おまえの針はどこにあるのか。あわれみはわたしの目から隠されている。**彼が強調する肝心な点はキリストの再臨での死からの復活や変化の保証のゆえに、死は決して私たちを征服する事はできない事です。 私たちがこの地上で息を引き取る瞬間に、私たちの真の命が始まります。勝利は私たちのもの。ですから、パウロは100 %の自信を持って第二コリント5章8節でこう言うのです。 **コリント人への手紙 第二 5章 8節 8 私たちは心強いのですが、むしろ肉体を離れて、主のみもとに住むほうがよいと思っています。**

この血肉の体が私たちの住処でなくなる時、私たちは一瞬にして私たちの本当の住処である私たちの主イエス・キリストと共にいる天国にいます。この真理は人生を一変させます。この輝かしい真理ゆえに、彼はこの書の他の全ての忠告と教えをこの教会と全ての教会のための彼の最も強い勧告と希望を58節で与えます。 **58 ですから、私の愛する兄弟たち。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは、自分たちの労苦が主にあって無駄でないことを知っているのですから。**死が打ち破られた事実は、私たちに、今ある現在の血肉の体の痛みが一切無い、より良い永遠の未来をもたらし、地上での私たちの働きのために力づけてくれます。信者である私たちだからこそ全員がこの将来の確信から来る勇気を持っているはずで**す**。 **ですから**、この真理によって、生活が苦しく辛く諦めたくなる時、**堅く立って**前に進み続けるのです。苦しみには必ず終わりがあります。人生のプレッシャーに負けないで、**動かされることなく**、なぜならば詩篇18篇2節が言うように、 **詩篇 18篇 2節 2 主はわが巖 わが砦 わが救い 主身を避けるわが岩 わが神。 わが盾 わが救いの角 わがやぐら。** 私たちに立ち向かう事ができるもの、たとえ、私たちを死に至らしめる事ができるものだとしても、私たちの信仰がイエス・キリストにあれば、私たちを動かす事ができるものではありません。そして、私たちはキリストの与える未来に確信を持っています。チャールズ・スポルジョンはこう表現しています。 **あなたはあなたの仕事を終えるまで、死ぬことはありません。そして、私はこう付け加えます。 あなたはあなたの仕事を終えるまで、死ぬことはありません。**そこから究極の不死は始まり、永遠の命はずっと続きます。ですから、この地上であなたが永遠を心に留めてすることは決して無駄ではありません。あなたが主にあって、主のために行ったのであれば、その仕事は無駄ではありません。しかし、気づいていただきたいのは、働きは

主にあって無駄でないことを。さらに57節で、彼はこう言っています。

神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。死と共に来るこの未来の命の保証、この希望に満ちた勝利は、自らの罪を悔い改め、イエス・キリストを自分の主として、救い主として受け入れた者たちだけに与えられます。 56 節は言います。 **死のとげは罪であり、そして罪の力は律法です。** 私たちはそもそも、肉体的にも永遠においても、死を経験するようには創造されていませんでした。最初の人たち、アダムとイブは死ぬために創造されたのではなく、永遠に生きるために造られたのです。死は罪によってのみ来たのです。 **ローマ人への手紙 5章 12節 12 こういうわけで、ちょうど一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がったのと同様に——**イエス・キリストから離れて生きていらっしゃる方々、あなた方はその死の呪いの下に止まっています。あなたの肉体的な死は永遠の命の扉を開きません。聖書を通して明らかにされていることはあなたの罪の代償として永遠の苦しみを意味する永遠の死が待つ事です。聖書では様々な表現によって描写されていますが、一般的には地獄として知られています。 **テサロニケ人への手紙 第二 1章 8-9節 8**はこの人生でキリストを拒絶する人たちの未来をこのように記述しています。 **主は、神を知らない人々や、私たちの主イエスの福音に従わない人々に罰を与えられます。 9 そのような者たちは、永遠の滅びという刑罰を受け、主の御前から、そして、その御力の栄光から退けられることとなります。**

私たちの死に対する勝利、私たちの永遠の命の確信はイエス・キリストを知ることによってのみ来ます。この人生は重要でしょうか。もちろん、しかし、あなたがこの人生をどう生きるか、あなたのこの人生での選択は死後のあなたの状況にとっても現実的な形で影響します。あなたがイエ

ス・キリストを拒絶して、あなたの生涯を彼に主として救い主として委ね、従わなければ、その選択は、あなたが神を認識していてもしてなくとも永遠の結果が伴います。そして、イエス・キリストを知る時、私たちの永遠の生活の間違いない確かな希望を持つ時、私たちは地上での毎日を神からの賜物として受け入れるべきです。毎日は私たちが永遠を彼の家族として暮らすお方に栄光を帰すための新たな機会です。神はあなたのために彼の家に住処を備えられています。それがあなたの本当の住処です。あなたの究極の目的地です。イエスはヨハネの福音書14章2節で言っています。 **ヨハネの福音書 14章2節 2 わたしの父の家には住む所がたくさんあります。そうでなかったら、あなたがたのために場所を用意しに行く、と言ったでしょうか。** その永遠の未来が、その確かな復活が私たちにこの生涯を全面的に受け入れる事ができるようにしてくれます。人生の困難によって私たちの昼も夜も喜びと期待をもって受け入れ難い時、神の恵みによって励まされます。私たちが定めるのは罪でも墓でもなく、私たちの救い主イエス・キリストの死と復活であることを知ることによって、私たちが想像できるよりはるかに大きな希望に満ちて未来を見る事ができます。主が私たちに召しを与えて下さった働きが多くとも少なくとも常に豊かにあり続ける事ができます。

あなたがたは、自分たちの労苦が主にあって無駄でないことを知っているのですから。 なぜならば、キリストは復活され、私たちは神と共に復活するのです。祈りましょう。

1 Corinthians 15:50-58 The Christian view of death and life

Today we come to the end of First Corinthians 15, and it really wraps up the big issues he is dealing with in this messy Corinthian church. The whole of chapter 15 is concerned with resurrection, as he has moved from Christ's resurrection now guaranteeing our future resurrection. It is that hope of a future resurrection that now provides the basis for his final joy filled conclusion of this topic. **In these final words, I want us to see how Paul's view as written under the inspiration of God the Holy Spirit himself should form our view of human death as Christians.** Let me begin with some quotes from some historical figures that reflect how humans have at their best viewed death. Charles de Gaulle said, "One must wait until the evening to see how splendid the day was; one cannot judge life until death." Henry David Thoreau said, "When it's time to die, let us not discover that we have never lived." Mark Twain said, "Let us endeavor so to live that when we come to die even the undertaker will be sorry."

I have a couple of Japanese proverbs on death as well. 死んで花実が咲くものか (しんで、はなみがさくものか、Shin de hanami ga saku monoka) meaning that good things only come while you are alive, because death is the end of everything. And a second one 命あつての物種 (いのちあつての、ものだね、Inochi atteno monodane) meaning everything can be done because of being alive, so we should avoid things dangerous to our lives.

The focus of the world is on the truth in their eyes that you only have this one life on earth that matters. In a way that could be interpreted as a Christian message. After all, God does tell us that what we do on earth matters for eternity. [Matthew 6:19-21](#) says 19 "Do not lay up for yourselves treasures on earth, where moth and rust destroy and where thieves break in and steal, 20 but lay up for yourselves treasures in heaven, where neither moth nor rust destroys and where thieves do not break in and steal. 21 For where your treasure is, there your heart will be also. Our time here on earth should be spent for eternal purposes, so it does matter. But that is very different than the idea that it is all that matters. In fact what Paul is telling us as this chapter of 1 Corinthians 15 concludes is that we only really begin living as God intends us to live after this life is over. That's a hard message to accept for most of us. We like our lives here on earth. We love our relationships...our marriages...our children...our friends...our family. We like our things, our cars, our homes, our jobs, our toys. And all of those things keep us comfortable with our life on earth, and if we are honest, we are not really thinking fondly many times of life after this life on earth. Can we really say with Paul in the book of [Titus 2:13](#) that we are ...waiting for our blessed hope, the appearing of the glory of our great God and Savior Jesus Christ...? Are we truly waiting expectantly to see Christ return or if we are honest, is there a bit of fear and not being ready, not really wanting, to begin eternity yet?

Our passage today points us to the incredible joy that awaits us whether we are alive when Christ returns or we meet our inevitable end in death. He ties these both together because it is at Christ's return that we gain the full expression of perfect humanity as we get our resurrection body. Let's read from verse 50-57. **50 I tell you this, brothers: flesh and blood cannot inherit the kingdom of God, nor does the perishable inherit the imperishable. 51 Behold! I tell you a mystery. We shall not all sleep, but we shall all be changed, 52 in a moment, in the twinkling of an eye, at the last trumpet. For the trumpet will sound, and the dead will be raised imperishable, and we shall be changed. 53 For this perishable body must put on the imperishable, and this mortal body must put on immortality. 54 When the perishable puts on the imperishable, and the mortal puts on immortality, then shall come to pass the saying that is written:**

“Death is swallowed up in victory.”⁵⁵ “O death, where is your victory? O death, where is your sting?”⁵⁶ The sting of death is sin, and the power of sin is the law. ⁵⁷ But thanks be to God, who gives us the victory through our Lord Jesus Christ. **Why is the next life so much sweeter than this life that for most of us contains a lot of joy right now?**

Before we can answer that question, we should back up a bit and see in verse 50 that he is indeed talking about our future life in eternity and not that which we experience now. Notice that he says “**flesh and blood cannot inherit the kingdom of God.**” Flesh and blood describes our current life. Human flesh and blood are probably the most descriptive terms to describe our humanity. It is what makes us most vulnerable. If someone loses enough blood, they will die. If enough parts of our human flesh are removed, we die. So, over centuries of warfare, armies have developed better and more advanced vehicles and body armor to protect the very vulnerable bodies of those who fight these wars. Air bags were developed to provide even more protection to vulnerable humans in car crashes. But our future human existence will look very different and very good!

This brings us back to our question, why is the next life more to be desired than the life we currently live? Instead of this weak flesh and blood based body that Paul describes as perishable, he now says it will be imperishable. This body that has an expiration date will have no end date on it, and will never decay and never know weakness! And whether we are alive when Christ returns or have already died and are enjoying a spiritual existence with our Savior at that point, we will be changed! It is immediate, to not have a body of flesh and blood is to immediately know what it is to be imperishable, indestructible. He says the mortal will become immortal. And this isn't the kind of immortality we see in comic books or manga figures. This is true immortality, with a peaceful perfect existence in perfect unity with our Creator like what Adam and Eve had. And if we are in Heaven already at that point, although we are already experiencing that perfect existence, it seems that at Christ's return that incredible existence will be enhanced by our experience of a new body as well. Notice he says, **the dead will be raised imperishable.** **From the time he was in his 20's my dad suffered from severe rheumatoid arthritis. It progressed to the point by the time I was 7 that he was considered permanently disabled. He eventually had both hips, both knees and all his knuckles on one hand replaced with artificial joints as an attempt to relieve his suffering. Ultimately, he contracted cancer, possibly from experimental medication for treating the arthritis and died at age 40 when I was in 7th grade. Literally, my entire childhood spent with my dad, I never knew him with a really healthy body. But one day, I know that I will see my father in perfect eternal health, with a body that is not suffering from arthritis, that is not infected with cancer and that doesn't need artificial joints to work! His body will be raised imperishable and restored to him, just as will the bodies of all of us who know Christ.**

That glorious truth of our future resurrection and eternal existence means that any power of fear over us that death can hold is destroyed. Instead of death being the sign of defeat and of loss, death becomes the source of ultimate victory. So, Paul quotes two Old Testament passages with a powerful statement basically taunting death in verses 54 and 55. **54 When the perishable puts on the imperishable, and the mortal puts on immortality, then shall come to pass the saying that is written: “Death is swallowed up in victory.”⁵⁵ “O death, where is your victory? O death, where is your sting?”** This is a taunt or a mocking sarcastic declaration of victory over an opponent. Death that has

been the defining characteristic for every single human who has ever lived since Adam has been defeated once and for all! In verse 54, he quotes from [Isaiah 25:8](#) which says, [He will swallow up death forever; and the Lord God will wipe away tears from all faces, and the reproach of his people he will take away from all the earth, for the Lord has spoken.](#) And then in verse 55, he quotes from [Hosea 13:14](#) [I shall ransom them from the power of Sheol; I shall redeem them from Death. O Death, where are your plagues? O Sheol, where is your sting? Compassion is hidden from my eyes.](#) And his whole point is that because of the assurance we have of resurrection from the dead or transformation at Christ's return, death can never conquer us. The second we take our last breath on this earth, our real life begins. Victory is ours! It's why in [2Corinthians 5:8](#) Paul can say with total confidence, [8 Yes, we are of good courage, and we would rather be away from the body and at home with the Lord.](#) When this body of flesh and blood is no longer our home, we are immediately in our real home with our Lord Jesus Christ in Heaven. This is life changing!

Because of this glorious truth, he can bring all the other admonitions and teachings in this book to his strongest admonition and hope for this church and for all churches in verse 58. [58 Therefore, my beloved brothers, be steadfast, immovable, always abounding in the work of the Lord, knowing that in the Lord your labor is not in vain.](#) The fact that death is defeated and only brings us to a better eternal future with none of the pain present in our current flesh and blood bodies, should empower us for our work on earth. We of all people should have a courage that can only come from the certainty of this future. [Therefore...](#) because of this truth, when you feel like quitting because life is too hard, [be steadfast...](#)keep going! There will be an end to the suffering! Don't give in to the pressure of life...be [immovable](#). Because as [Psalm 18:2](#) says, [The Lord is my rock and my fortress and my deliverer, my God, my rock, in whom I take refuge, my shield, and the horn of my salvation, my stronghold.](#) Nothing that can come against us, even something that could lead to our death, can move us if our faith is in Christ Jesus and we are certain of the future he provides. [Charles Spurgeon put it like this, "You are immortal until your work is done...!"](#) And I would add to that, you are immortal until your work is done, and then begins ultimate immortality, the rest of your eternal life! So, whatever you do here on earth with that eternity in mind is not in vain. That [labor is not in vain](#) if it is done for the Lord, [in the Lord!](#)

But notice that it is, ["in the Lord"](#) that the labor is not in vain. Also, notice verse 57 where he says we have [victory... through our Lord Jesus Christ](#). This future guarantee of life...this hope-filled victory that comes with death is only coming to those who have repented of their sin and accepted Jesus Christ as their Lord and Savior. Verse 56 says the [sting of death is sin](#), and the [power of sin is the law](#). We were never created originally to experience death, either physical or eternal. Adam and Eve, the first humans were not created dying, but living forever. Only with sin did death come. [Romans 5:12](#) says, [12 Therefore, just as sin came into the world through one man, and death through sin, and so death spread to all men because all sinned—](#). For those who are living apart from Jesus Christ, you remain under that curse of death. Your physical death does not open the door to eternal life, but to eternal death described throughout the Bible in terms of eternal torment as payment for your sin. It is described in the Bible by different terms, and came to be known generally in English as Hell. [2Thessalonias 1:8-9](#) describes this future for those who reject Christ in this life. [8 He \[Jesus\] will punish those who do not know God and do not obey the gospel of our Lord Jesus. 9 They will be punished](#)

with everlasting destruction and shut out from the presence of the Lord and from the glory of his might. Our victory over death, our certainty of eternal life only comes through knowing Jesus Christ. Is this life important? Yes, but how you live in this life, the choices you make in this life affect your afterlife in a very real way. And if you reject Jesus Christ, and submitting your life to him as your Lord and Savior, then that is a choice that will have eternal consequences whether you acknowledge God or not.

And when we know Jesus Christ, when we have our sure and certain hope for the future of our now eternal existence, then we should embrace each day of this life on earth as a gift from God. Each day is another opportunity to glorify the one we will spend eternity living with as his family. God has a place for you in his home, and that is your real home, your ultimate destination. Jesus says in [John 14:2](#) *In my Father's house are many rooms. If it were not so, would I have told you that I go to prepare a place for you?* It is that eternal future, that certain resurrection that allows us to fully embrace this life. Because when the difficulties of this life make it hard to embrace our days and our nights with joy and anticipation, we can embrace and take heart in the grace of God. We can look with hope on a future that is beyond anything we can imagine, knowing that it is not sin and the grave that define us, but the death and resurrection of our Savior, Jesus Christ. And we can continue to be always abounding, that is increasing whether it feels like just a little or a lot in the work that our Lord has called us to, **knowing that in the Lord, your labor is not in vain**, because Christ rose and we will rise with him! Let's pray.